

四の宮ゆいま

平成二十一年四月十八日

(編集・発行)
赤田神社社務所
九二二七五八二

清掃奉仕作業 大勢で・・・ 美しい岩屋が再び

四月八日(日)に赤田神社の清掃奉仕作業を行いました。
朝早くから地域の皆さんがジョレンやホウキを持って三々五々集まってこられました。

当社では、春と秋の大祭前の日曜日に、氏子の皆さんによる清掃奉仕作業を実施していて、今回も多くの方にご協力いただきました。



社叢はとても広く、落ち葉や雑草がありました。が、大人数の作業により、見る見るうちにきれいになっていきました。
また、今回は清掃奉仕作業にあわせて、総代の皆さんが神社横の川に生い茂る竹の伐採をしてくださいました。
川の中洲には、かつてはサクラが植わり、定期的に岩屋の手入れが行われ、美しい景観が保たれていました。が、ここ数十年間途絶えていて、荒れた状態になっていました。
当社は、今から一、二九二年前の養老元年(七一七)に、神様が岩屋の美しさに惹かれて、神社を岩屋のそばに移すようにとのお告げがあり、中村町内の古四宮から現在の地にお遷されたと言い伝えられています。
また、「赤田神社の岩屋の夕照」と言われ、吉敷八景の一に数えられていました。
今回、皆さんのおかげで境内が清々しくなり、岩屋の奇岩も良く見えるようになりました。さぞ神様もお喜びになったことでしょう。
すっきりときれいになった岩屋の夕景を是非ご覧にお越しになってはいかがでしょうか。
初夏にはたくさんの蛍が舞い、美しい所です。
ご奉仕いただいた皆さん、ありがとうございました。



岩屋の夕照